

令和2年度 中等部入学試験 第3回(試験I) 解答用紙

※1

(注意:※の部分には何も記入しないこと)

1

(1) 9	(2) 1500 円	(3) 9 %	(4) 10 cm ²
-------	------------	---------	------------------------

※2

2

※(1)

※(2)

(1) スパードの4を引いて東4のマスに移動
クラブの7を引いて西の方向に7マス
移動するので、フレイヤーがいるのは
西3のマス

西 3 のマス

(2) ハートの3は西の方向に3マス移動
クラブの2は西の方向に2マス移動
よって2枚目に引いたカードでは
東の方向に5マス移動する。
それは「スパードの5」と「ダイヤの5」

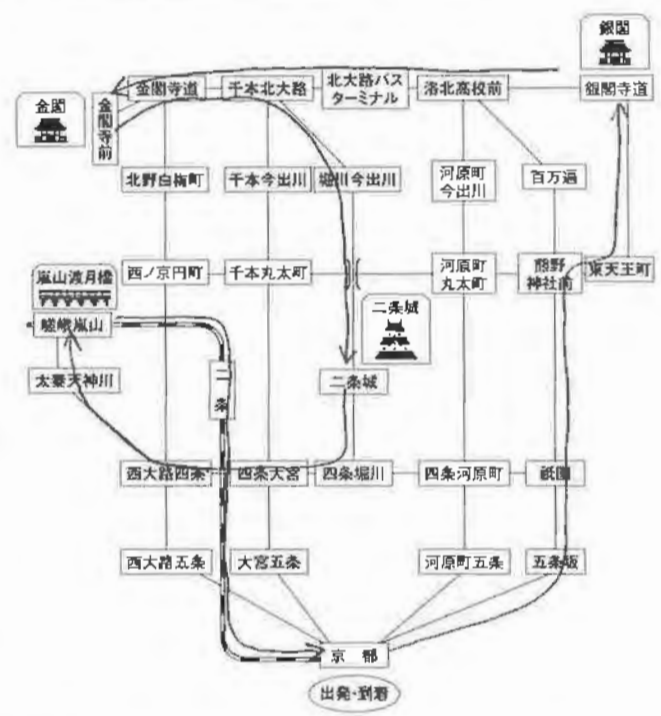
スパードの5, ダイヤの5

受験番号					氏名	
------	--	--	--	--	----	--

※1, 2

令和2年度 中等部入学試験 第3回(試験I) 解答用紙

(注意:※の部分には何も記入しないこと)

3	(1)	5 時間 52 分	※(1)
	(2)	① 北海道 札幌市 鳥根県 松江市	※(2)
	(3)	② 寒流によって海水温が低くなっている日本海側の海域 関税をかけ、輸入品の価格を高くして、売れにくくすることにより、 自国の産業を保護するため。	※(3)
	(4)	① 二酸化炭素を排出しない。 ② マイバッグ持参の人に割引を行う。	※(4)
	(5)	 <p style="margin-left: 20px;">京都駅を9時に出発 [場所 銀閣] に[時刻 9時50分] に到着 [場所 金閣] に[時刻 11時40分] に到着 [場所 二条城] に[時刻 13時20分] に到着 [場所 嵐山渡月橋] に[時刻 15時10分] に到着 京都駅に [時刻 16時30分] に到着</p>	※(5)
	(6)	紹介する文化遺産 法隆寺 今から約1400年前の飛鳥時代、現在の奈良県斑鳩町に、推古天皇の 摂政として「憲法十七条」を制定した聖徳太子によって建てられたお寺 である。世界最古の木造建築として知られ、玉虫厨子などの国宝が伝わっている。	※(6)

※3

※4

4 の解答欄は裏にあります

受験番号		氏名	
------	--	----	--

※3 4

4

※(1)

(1)

時間	調理台	コンロ1	コンロ2
0:00 ~ 0:10	A①		
0:10 ~ 0:20	A①		
0:20 ~ 0:30	B⑤	A②	
0:30 ~ 0:40		A②	B⑥
0:40 ~ 0:50		A②	B⑥
0:50 ~ 1:00		A②	B⑥
1:00 ~ 1:10		A③	B⑥
1:10 ~ 1:20	B⑦	A③	
1:20 ~ 1:30	B⑧	A④	

※(2)

c	1人暮らし	3 割	2人家族	3 割	4人家族	4 割
---	-------	-----	------	-----	------	-----

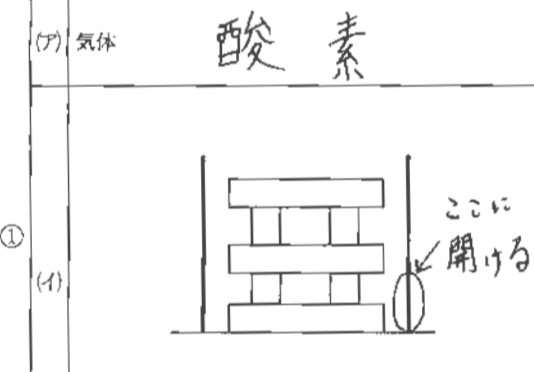
d	想定した参加率	8 割	その参加率にした理由	町内会活動を熱心に行なっている ところだから
---	---------	-----	------------	---------------------------

※(3)

(2)

用意する エンジンの本数	計算式
80 本	$(1 \times 200 \times 0.3 + 2 \times 200 \times 0.3 + 4 \times 200 \times 0.4) \times 0.8 \div 5$ $= (60 + 120 + 320) \times 0.8 \div 5$ $= 500 \times 0.8 \div 5$ $= 80$

※(3)



理由 火は上に向かって燃えるので、下の方に酸素を送るため

② 針葉樹 理由 すき間が多く酸素も多く含むから

※(4)

(4)

理由 ニュージールランドは、アルゼンチンと同じ
南半球にあるから

12 月ごろ

※(5)

(5)

理由

96 リットル

計算式
小麦1kgあたりのバーチャルウォーター 1600 L
つまり、小麦1gあたりのバーチャルウォーター 1.6 L
小麦60gあたりのバーチャルウォーターは 1.6 × 60
よって、96 L

※4

問2

(●印の部分は何も書かないこと)

(1)

私は、できないかもしれないことにちよう
 戦するときには、自分の得意・不得意をきちん
 と自覚することが大切だと思います。
 私は去年の運動会で、応えん団長にちよう
 戦しました。六年生として、下級生の指導を
 しなければいけません。人に厳しく接する
 ことが苦手なので、団長らしく最後までやり
 通せるか不安でした。しかし、厳しくするだ
 けが上級生の仕事ではないと考え、自分の長
 所である優しさを生かして下級生を指導しま
 した。結果として、応えん団は成功し、最後
 に下級生たちから感謝状をもらいました。
 このことから、得意・不得意を自覚して、
 得意なことを生かす方法を考えることが大切
 だと思いました。

340 300 200 100 20

(2)

、応えん団長を通して、得意・不得意を自覚し
 得意なことを生かす必要性に気づいた。

40 20

問2



I
II
III
IV
V

受験番号

.....

氏名

.....

令和二年度 中等部入学試験 第三回 (試験Ⅱ) 解答用紙

(●印の部分は何も書かないこと)

問1

(2)	(1)
ないと感じる場面を避けようとするから。	やればある程度できることも必要以上につで きない」と感じている状態。 問題解決に必要な知識や自分の得意、不得意 を知らず、自分の一般的な能力のせいでき ないと感じる場面を避けようとするから。

受験番号
.....
氏 名
.....

●	問1
---	----